

設計理念

1 総則

野洲市が整備する（仮称）野洲市民病院は、「（仮称）野洲市立病院整備基本計画」に掲げた基本理念に基づくほか、市民が安心して生活できるまち都市づくりのため、地域の中核医療機能を果たす病院とする。そのため、最良の医療サービスを市民はもとよりすべての病院利用者が必要に応じていつでも安心して受けられる市民病院とする。また、「野洲駅南口周辺整備構想」と整合し、駅前という立地条件を最大限に活かした運営・経営を行うとともに、機能的で、かつ、景観及び環境に配慮した施設、医療機器等の選定、整備及び将来の機器更新が行いやすい施設とする。

2 敷地

施設の敷地は、当該施設の用途に応じて、以下の事項を総合的に勘案して設計する。

- (1) 野洲駅南口周辺整備構想に適合した敷地利用を行う。特に交流/商業施設との一体的運用部分を考慮した敷地利用とする。
- (2) 敷地内では十分な駐車台数を確保できないことから、市民広場側の立体駐車場の建設を前提とし、それとの連結を考慮した敷地利用とする。
- (3) 地形、地質、気象等の自然的条件による災害の防止を図り、かつ、環境の保全に配慮する。
- (4) 都市計画その他法律に基づく土地利用に関する計画との整合性を図り、良好な中心市街地環境整備及び市街地環境等の形成に配慮する。
- (5) 施設の将来需要、敷地の有効利用、周辺環境への影響に配慮し、建築物・駐車場・緑地等の施設を適切に配置する。
- (6) 地盤の条件、土地利用計画、施工条件、環境条件等を踏まえて、当該施設・隣接地についての問題点を総合的に検討し、その対策に配慮する。

3 施設

施設は、地域中核病院としての用途に応じて、地域性、機能性及び経済性等の各観点から以下の事項を総合的に勘案して設計する。（詳細は（仮称）野洲市立病院建設基本構想、基本計画及び精査結果報告書を参照すること。）

(1) 地域性

施設は、地域の歴史、文化及び風土に配慮し、周辺の自然環境及び都市環境と調和したものとする。

(2) 防災機能の確保

施設は、地震等の災害時に求められる機能に応じて、建築構造部材、非構造部材、設備機器等の総合的な安全性を確保したものとする。

(3) 高齢者、身体障害者等への対応

施設は、高齢者、身体障害者等の円滑な利用に配慮したものとする。

(4) 環境保全への配慮

材料、機器等及び工法は、環境の保全に配慮したものとする。

(5) エネルギーの効率的利用

施設は、エネルギーの効率的利用及び熱の損失の防止を考慮したものとし、本院にとってもっともふさわしいエネルギーの選択とエネルギー供給方法（エネルギーサービスプロバイダー方式含む）を検討、比較の上設計を行う。また、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用について検討、比較の上設計を行う。

(6) 資源の有効活用

材料及び機器等は、資源のリサイクル等有効利用を考慮したものとする。

(7) 快適性、利便性の確保

施設は、快適な室内環境及び外部環境が得られ、使いやすいものとする。

(8) 高度情報化への対応

施設は、設置目的に応じて高度情報化に対応できるものとし、かつ、安全性、信頼性を確保したものとする。

(9) メンテナビリティ及びフレキシビリティの確保

施設は、維持・管理（特に上下水配管等）が容易に行うことができ、かつ、医療制度や医療技術の変化に柔軟に対応できるよう配慮したものとする。また、長期的に見た場合、建物の一部を他の施設に変換することが可能なように、廊下幅やエレベーターの配置などに配慮したものとする。

(10) 良好な品質の確保

施設は、材料及び機器等を信頼性のあるものとするとともに、安全性、経済性等を考慮して、良好な品質を確保したものとする。

(11) 長期的経済性（コスト縮減）への対応

材料及び機器等は、品質、性能、耐久性等を総合的に勘案し、ライフサイクルを通じて全体の費用の軽減が図られるよう努めること。